

公表に当たって



「洋上風力発電所に係る環境影響評価手法の技術ガイド」について

① 活用の範囲

本技術ガイドは現行制度に基づいて行われる環境影響評価において活用されることを想定して取りまとめたものです。洋上風力発電に係る新たな環境アセスメント制度の在り方については、③に示すとおり、別途検討を行っています。

② 想定する洋上風力発電所

洋上風力発電所によって生じる環境影響は、計画される立地や基礎形式などによって異なることが想定されますが、本技術ガイドでは、典型的な事業特性・地域特性を設定した上で、環境影響評価手法を整理しました。

詳しくは、本編P13を御確認ください。

③ 今後の検討

「洋上風力発電に係る新たな環境アセスメント制度の在り方について」（2023年8月、洋上風力発電の環境影響評価制度の最適な在り方に関する検討会）において

- 事業者選定前の早期の段階から国（環境省）自らが、環境アセスメント等の方法をあらかじめ確定した上で現地調査等を実施する仕組みとすること
 - 順応的な取組の考え方にたって、工事中及び稼働段階においてモニタリングを実施する仕組みとすること
- 等が提言されました。

これを踏まえ、新たな制度において実施する環境アセスメントの手法等については、今後の制度の具体的な設計と併せて検討を進めてまいります。

参照：洋上風力発電の環境影響評価制度の最適な在り方に関する検討会

http://assess.env.go.jp/4_kentou/4-1_kentou/reportdetail.html?page=4_kentou/index&kid=1055